

The SHOIN Times

“We participated in the fresh girls,competition” -Tuesday, March 18, 2025

高校バスケットボール部

近畿高等学校バスケットボール新人大会出場！！

樟蔭高校バスケットボール部は、1月11日に大阪府の金岡公園で行われた第72回大阪府高等学校バスケットボール新人大会で、東地区優勝、中央大会ベスト4の成績を収め、2月15、16日に和歌山県のビッグホエールで開催された第35回近畿高等学校バスケットボール新人大会に大阪府代表として出場しました。大会では昨年全国優勝の京都精華学園と対戦し、敗れましたが貴重な経験となりました。応援して下さいた保護者やチーム関係者の方々に心から感謝しながら、部員たちは早くも前を向いて日々練習に打ち込んでいます！バスケットボール部のみなさん、5月のインターハイ予選ではさらなる高みを目指して頑張ってください！これからも引き続き応援しています！目指せインターハイ出場！



悔しさを力に、壁を乗り越えて全国大会を目指し一丸となって挑む！



(部員の声)

今年の近畿大会では初戦から全国優勝チームの京都精華高校と対戦し、非常に感慨深い体験でした。緊張と興奮の中で、自分たちの弱点や課題を再認識できました。しかし、私たちの目標は近畿大会ではなく、夏のインターハイ出場です。そのために、チーム全員で一致団結し、目標に向かって努力していきます。応援してくれる仲間、指導して下さるコーチ、支えてくれる保護者や先生方に感謝の気持ちを忘れず、さらに上を目指して頑張ります。

2年夏組 佐藤 恵奈 (中央)

昨年の新人戦と夏の大会で近畿大会出場を逃し、とても悔しい思いをしました。特に今回の新人戦にはチーム全員が強い思いで臨みました。私は夏の大会での大怪我のため出場できませんでしたが、仲間たちが熱いプレーで勝利し、近畿大会出場を決めてくれたことが本当に嬉しかったです。初戦では日本一と言われる京都精華高校と対戦し、全国レベルの高さと自分たちの課題を痛感しましたが、多くの収穫もありました。この経験を無駄にせず、課題を克服し、夏の全国大会に向けてチーム一丸となり努力していきます。

2年冬組 丹羽 愛奈 (右)

昨年の新人戦では大阪府7位で、あと一步のところまで近畿大会出場を逃し、悔しい思いをしました。その悔しさを忘れず、この1年間は仲間と共に努力を重ね、自分たちより強い相手にも挑み続けました。その結果、今年の新人戦では大阪府4位となり、ついに近畿大会出場が決まった瞬間は本当に嬉しかったです。近畿大会の初戦では、全国1位の京都精華高校との対戦で、圧倒的な実力差に大きな壁を感じました。けれど、その試合は自分たちにとって大きな収穫のある試合でもあり、今の自分たちに足りない部分のはっきりと見えました。この経験をバネに、チーム一丸となってさらに努力し、次こそはもっと強くなった姿を見せたいです。夏の全国大会に向けて、これからも全力で頑張りますので、引き続き応援よろしくお願いします！

2年秋組 原 明梨 (左)



学校法人 樟蔭学園

樟蔭中学校・高等学校